

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年3月9日

【四半期会計期間】 第75期第3四半期(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

【会社名】 アゼアス株式会社

【英訳名】 AZEARTH Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 黒田 良

【本店の所在の場所】 東京都台東区蔵前四丁目13番7号

【電話番号】 03-3865-1311(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員総務経理部部长 羽場 恒彦

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区蔵前四丁目13番7号

【電話番号】 03-3865-1311(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員総務経理部部长 羽場 恒彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第74期 第3四半期 連結累計期間	第75期 第3四半期 連結累計期間	第74期
会計期間		自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日	自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日	自 平成26年5月1日 至 平成27年4月30日
売上高	(千円)	7,687,571	7,477,267	10,328,674
経常利益	(千円)	142,606	43,702	180,345
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	112,325	80,843	112,031
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	161,470	46,262	210,779
純資産額	(千円)	5,347,069	5,180,924	5,338,373
総資産額	(千円)	8,159,911	8,544,440	7,918,220
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	18.52	13.78	18.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	18.47	13.75	18.44
自己資本比率	(%)	65.5	60.6	67.4

回次		第74期 第3四半期 連結会計期間	第75期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成26年11月1日 至 平成27年1月31日	自 平成27年11月1日 至 平成28年1月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	6.31	11.16

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府および日銀の経済・金融政策によって、企業業績に改善が見られ、引き続き緩やかな回復基調が続きましたが、原油安や米国の利上げ、中国等アジア諸国の経済成長の鈍化など、不安定な状況がみられ、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業は増収となりましたが、たたみ資材事業をとりまく環境は引続き厳しく、また、アパレル資材事業および中国子会社においても当初計画の売上を確保することができなかつたため、売上高は7,477,267千円（前年同四半期比2.7%減）と減収となりました。また、特にアパレル資材事業と中国子会社の減収の影響が大きく、営業利益は34,843千円（前年同四半期比75.0%減）、経常利益は43,702千円（前年同四半期比69.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80,843千円（前年同四半期比28.0%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、従来からの一般産業向け需要に加え、官公庁関連の大口需要への対応に注力しました。この結果、売上高は3,357,945千円（前年同四半期比11.4%増）と増収となり、セグメント利益（営業利益）も261,151千円（前年同四半期比17.9%増）と、増収増益になりました。

たたみ資材事業におきましては、前期顕著であった消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が長引いており、需要の低迷が続いているため、売上高は1,058,668千円（前年同四半期比9.7%減）、セグメント利益（営業利益）も26,220千円（前年同四半期比1.3%減）と、減収減益になりました。

アパレル資材事業におきましては、メンズカジュアル部門の売上が低調に推移したため、売上高は2,315,242千円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント利益（営業利益）は77,476千円（前年同四半期比35.8%減）となり減収減益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は308,309千円であります。

#### (2) 財政状態の分析

##### （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.5%増加し、6,576,415千円となりました。これは、主として官公庁関連の大口需要への対応などで受取手形及び売掛金が531,335千円増加、商品及び製品が345,524千円増加し、現金及び預金が397,359千円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、1,968,024千円となりました。これは、主としてアゼアスデザインセンター秋田の新設計画等で有形固定資産が181,375千円増加し、投資有価証券の売却等で投資その他の資産が72,076千円減少したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて626,219千円増加し、8,544,440千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて32.3%増加し、2,696,378千円となりました。これは、主として官公庁関連の大口需要への対応などで支払手形及び買掛金が537,312千円増加、アゼアスデザインセンター秋田の新設計画に伴う有形固定資産の取得等で未払金が144,800千円増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.1%増加し、667,136千円となりました。これは、長期借入金が225,000千円増加したためであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、5,180,924千円となりました。これは、主として自己株式の取得等で株主資本が122,866千円減少したためであります。

(3) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。

(4) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営者の問題認識と今後の方針について重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年1月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年3月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,085,401	6,085,401	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	6,085,401	6,085,401		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年1月31日		6,085,401		887,645		1,038,033

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 289,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,792,000	57,920	
単元未満株式	普通株式 4,001		
発行済株式総数	6,085,401		
総株主の議決権		57,920	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年10月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成28年1月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) アゼアス株式会社	東京都台東区 蔵前四丁目13番7号	289,400		289,400	4.76
計		289,400		289,400	4.76

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (執行役員防護服・環境資機材 営業第一部部长)	取締役 (執行役員防護服・環境資機材 営業本部営業第一部部长)	斉藤 文明	平成27年8月1日
取締役 (執行役員総務経理部部长)	取締役 (執行役員管理本部部长兼経理部部长)	羽場 恒彦	平成27年8月1日
取締役 (執行役員たみ資材営業部部长)	取締役 (執行役員アパレル・たみ資材 営業本部たみ資材営業部部长)	横山 太郎	平成27年8月1日
取締役 (執行役員アパレル資材営業部部长)	取締役 (執行役員アパレル・たみ資材 営業本部アパレル資材営業部部长)	山岡 司	平成27年8月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成27年11月1日から平成28年1月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成27年5月1日から平成28年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,130,624	1,733,265
受取手形及び売掛金	2,727,457	2 3,258,792
商品及び製品	878,813	1,224,337
原材料	219,684	198,608
その他	129,349	181,759
貸倒引当金	22,339	20,347
流動資産合計	6,063,589	6,576,415
固定資産		
有形固定資産	1,337,768	1,519,143
無形固定資産	115,700	119,795
投資その他の資産		
投資有価証券	242,707	168,118
保険積立金	99,567	101,042
その他	64,468	66,625
貸倒引当金	5,582	6,702
投資その他の資産合計	401,161	329,084
固定資産合計	1,854,630	1,968,024
資産合計	7,918,220	8,544,440
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,653,005	2,190,318
短期借入金	13,700	13,700
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	-	75,000
未払金	35,220	180,020
未払法人税等	31,362	21,096
賞与引当金	63,852	29,706
その他	160,854	106,537
流動負債合計	2,037,994	2,696,378
固定負債		
社債	235,000	155,000
長期借入金	-	225,000
退職給付に係る負債	168,415	166,864
役員退職慰労引当金	111,740	106,140
繰延税金負債	26,696	14,132
固定負債合計	541,852	667,136
負債合計	2,579,847	3,363,515



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,096,906	1,095,885
利益剰余金	3,219,257	3,240,348
自己株式	60,317	203,255
株主資本合計	5,143,491	5,020,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,689	47,009
為替換算調整勘定	116,191	113,289
その他の包括利益累計額合計	194,881	160,299
純資産合計	5,338,373	5,180,924
負債純資産合計	7,918,220	8,544,440

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
売上高	7,687,571	7,477,267
売上原価	6,334,571	6,172,184
売上総利益	1,352,999	1,305,082
販売費及び一般管理費	1,213,816	1,270,239
営業利益	139,183	34,843
営業外収益		
受取利息	484	513
受取配当金	5,087	4,162
為替差益	-	2,983
受取賃貸料	2,035	120
保険解約返戻金	-	2,450
その他	3,177	1,778
営業外収益合計	10,785	12,008
営業外費用		
支払利息	2,465	2,147
社債発行費	2,863	-
為替差損	1,782	-
その他	249	1,002
営業外費用合計	7,361	3,150
経常利益	142,606	43,702
特別利益		
固定資産売却益	2,380	8,247
投資有価証券売却益	271	75,927
特別利益合計	2,652	84,175
特別損失		
固定資産売却損	-	34
固定資産除却損	12	901
減損損失	91	37
投資有価証券評価損	-	526
特別損失合計	103	1,499
税金等調整前四半期純利益	145,156	126,378
法人税、住民税及び事業税	20,192	33,762
法人税等調整額	12,639	11,771
法人税等合計	32,831	45,534
四半期純利益	112,325	80,843
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,325	80,843

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	112,325	80,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,583	31,679
為替換算調整勘定	24,562	2,901
その他の包括利益合計	49,145	34,581
四半期包括利益	161,470	46,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,470	46,262
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58 - 2項(4)、連結会計基準第44 - 5項(4)及び事業分離等会計基準第57 - 4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
受取手形割引高		16,607千円
受取手形裏書譲渡高	64,993千円	76,892千円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
受取手形		110,417千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
減価償却費	53,242千円	58,605千円
のれんの償却額	2,638千円	2,638千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年7月29日 定時株主総会	普通株式	60,636	10.00	平成26年4月30日	平成26年7月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年7月28日 定時株主総会	普通株式	59,753	10.00	平成27年4月30日	平成27年7月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,014,206	1,172,772	2,492,599	6,679,578	1,007,993	7,687,571		7,687,571
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,801		4,189	5,990	60,875	66,866	66,866	
計	3,016,007	1,172,772	2,496,789	6,685,569	1,068,868	7,754,437	66,866	7,687,571
セグメント利益	221,574	26,553	120,770	368,898	34,675	403,574	264,391	139,183

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額 2,661千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用 261,729千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,357,945	1,058,668	2,315,242	6,731,855	745,412	7,477,267		7,477,267
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,498	11	6,299	10,809	91,655	102,464	102,464	
計	3,362,443	1,058,679	2,321,542	6,742,664	837,067	7,579,732	102,464	7,477,267
セグメント利益	261,151	26,220	77,476	364,848	19,067	345,780	310,936	34,843

(注)1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額 2,627千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用 308,309千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円52銭	13円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	112,325	80,843
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	112,325	80,843
普通株式の期中平均株式数(株)	6,064,322	5,866,219
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18円47銭	13円75銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	16,744	12,601
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年3月9日

アゼアス株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 本 禎 良 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 祐 暢 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアゼアス株式会社の平成27年5月1日から平成28年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年11月1日から平成28年1月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年5月1日から平成28年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アゼアス株式会社及び連結子会社の平成28年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。